



協 造 日 報

www.jalc.or.jp

第 458 号

2012 年 5 月 10 日

発行／一般社団法人日本造園建設業協会（Japan Landscape Contractors Association） 創刊／昭和49年6月1日 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-17 井門本郷ビル2階 TEL03 (5684) 0011 FAX03 (5684) 0012

本号の主な内容

- 2、3面 海外特集・フロリアード2012
3面 【学会の目・眼・芽】第34回 前澤 洋一氏
造園分野から震災復興へ力を尽す好機
4面 【緑滴】「緑」って 井内 優

おかげさまで創立40周年を迎えました

国交省 都市局関係予算決まる 国営公園等に303億8千万円

平成24年度

事 項	前年度予算額 (A)	概算決定額 (B)	対前年度 増減 (B/A)	うち日本再生 重点化措置 (C)	全国防災 (D)	再 計 (E=B+D)	対前年度 増減 (E/A)
国 営 公 園 等 事 業	33,132	30,380	0.92	130	0	30,380	0.92
国 営 公 園 整 備	15,624	12,766	0.82	0	0	12,766	0.82
国営公園維持管理	10,954	11,319	1.03	0	0	11,319	1.03
都市公園補助等	6,554	6,295	0.96	130	0	6,295	0.96
都市環境整備事業	13,219	11,857	0.90	1,415	1,590	13,447	1.02
市 街 地 整 備	13,152	11,805	0.90	1,415	1,590	13,395	1.02
都市水環境整備	67	52	0.78	0	0	52	0.78
緑地環境整備	67	52	0.78	0	0	52	0.78
小 計	46,351	42,237	0.91	1,545	1,590	43,827	0.95
災 害 関 係	400	400	1.00	0	0	400	1.00
行 政 経 費	1,867	2,482	1.33	694	10	2,492	1.33
合 計	48,618	45,119	0.93	2,239	1,600	46,719	0.96
都 市 開 発 資 金	10,654	12,315	1.16	0	0	12,315	1.16

〇都市整備関係予算

平成24年度国土交通省都市局関係予算が発表された。それによると国費のうち都市整備関係は、国営公園事業では対前年度比0.92倍の303億8000万円。

国営公園事業の内訳は、整備費が127億6600万円（対前年度比0.82倍）、維持管理費113億1900万円（同1.03倍）、都市公園補助費62億9500万円（0.90倍）。これには日本再生重点化措置の1億3000万円をふくんでいる。続いて都市環境整備事業では118億5700万円

（同0.90倍）。内訳は市街地整備118億500万円（同0.90倍）、これには日本再生重点化措置の14億1500万円、及び全国防災15億900万円を含んでいる。都市水環境整備に5200万円（同0.78倍）、都市水環境整備は

5200万円（同0.78倍）、緑地環境整備は同じく5200万円（同）となっている。これにより国営公園等事業と都市環境整備事業の小計は422億3700万円、対前年度比0.91と

「日本再生重点化措置」の柱は①国際競争拠点都市整備事業（約14億）②国営公園再生可能エネルギー活用実証事業（約1億3千）③エネルギー面的利用推進事業（約3億5千）④都市安全確保促進事業（約3億4千）の4つの事業である。

公園緑地・景観課の事業

「エネルギー」と「風致維持」を重点に

今年度国土交通省公園緑地・景観課は「都市における地産地消型再生可能エネルギー活用」と「歴史的風致維持向上推進等調査の創設」に取り組む。

型再生可能エネルギー活用「の推進」は、都市の公園・街路等から発生する未利用の植物廃材を、地産地消型再生可能エネルギーとして活用するための実証事業を中心とし、約1億8千万円

が振り分けられた。同事業の主なフィールドは国営公園内で、多種多様な植物廃材の高効率なエネルギー化を目指す。「歴史的風致維持向上推進等調査の創設」は歴史的

樹 林

都会の安マンションに住みつづ周囲の緑の激減を嘆いていると西欧主要都市の石造りの建築、いわゆるコート・ヤード（中庭）に想いが馳せる。街路からは眼に入らぬ隠された空間だが、仕事を訪れる際などに内部に身をおく時もあり、都市の魅力の一つだ。

ロンドンには庭園史博物館があるから、17世紀、つまり木蓮やヒバが国内に入ってきた時代、初期のザ・ノット（要するに英国風庭園）を散策しつつ、作庭やガーデニングの流れを把握できるし、プライヴェイトな名園の公開情報も手に入る。オックスフォードやケンブリッジに赴けば、カレッジの建物が中世来の方形庭園クアド・ラングル、要するに大規模な中庭だを囲繞している。

集合住宅《中庭》に緑を

ル・モンド東京支局 大友 竜



日時計はどれも巧緻なデザインだ。オックスでは街の只中、迷路まがいの路地を辿ると、唐突に空間が開け、芝の中庭でジブリの奏でる弦楽に耳を傾けつつビールを飲むパブもあった。が、ここも近年店主が客用の食卓を設け芝をかくした。イングランドではウインター・ガー

を越す公園がさまざまなデザインを網羅している。17世紀の王室薬草園に由来し、4、500種の草木を集める植物園で高地も含め国内の植相を把握し、庭も美しい。個人所有の美しい中庭は激減しているものの相当数残っていて、デザインの一端は不動産広告からも窺える。苔こそな

のよい中庭が客を蟠集させているビストロもある。いずれも美術館になっているブルデルの旧宅や富豪ジャクマール・アンドレ邸（パリ風のウインター・ガーデンがある）その他、公開されている名園も多い。ちなみに、近年は個人向け作庭・ガーデニングがUNEP加盟企業の

デン、つまりサンルーム用の常緑樹の庭がバリのそれらどうよう日本の寒冷地の造園作庭の刺激になろう。パリはサハリン中部と同じ緯度といってもロンドンよりはかなり南。その分植生も豊かで紀元1世紀のリュテス・アレヌスははじめ大小400

いが石造りの坪庭に想をえたものも珍しくない。維持技術の細部についてはUNEP（仏造園協、企業・個人2万6500が参加）加盟の業者に照会すれば概略を把握できよう。中庭の美しさを売り物にするホテル、レストランも少なくない。感じ

年間売り上げ総計の四割を超え、公共投資に代わりそのシェアは拡大の一途だ。ガーデニング愛好者の全国組織も活発、主催するコンクールが毎年話題になる。刺激的な経営戦略のノウハウもあるはずだ。ローマは南欧だけあって道路に面

〇プロフィール・ジャーナリスト。東京生まれ、早大政経学部卒業。仏エコール・プラティック・デ・ゾート・ゼテュードに学ぶ。「ル・モンド」東京支局所属。

「日造協団体保険制度」加入の一次メ切は6月25日(月)です！
損害保険ジャパン代理店または各担当店へお電話を。
(損害保険ジャパン本社 ☎03・3349・3216)

町並みの保存と活用、景観悪化対策として行われ、歴史的風致の維持向上を推進。約1億3千万円を充てる。この事業の柱は民間資金の導入による町家等の歴史的建造物の修理・活用等

平成24年春の叙勲・褒章 受章者

平成24年春の叙勲・褒章が発表された。

日造協関連では、瑞宝小綬章を山田勝巳氏（70）当協会相談役（神奈川県横浜

市）が建設行政事務功勞として、同じく瑞宝小綬章を大坪貞保氏（71）当協会顧問が農林水産行政事務功勞として受章され、旭旦日光章を植村章英氏（70）（株）植

宗園代表取締役（石川県金沢市）が専門工事業振興功勞として受章された。

また、黄綬褒章を藤原恒男氏（76）埼玉グリーンサービス（株）代表取締役（埼玉県川口市）が造園工事業の業務精勵の功績で受章された。



山田勝巳氏



大坪貞保氏



植村章英氏



藤原恒男氏

お知らせ
平成24年度
通常総会
講演会・交流会
6月26日(火)
14:00~

グラントーク半蔵門
東京都千代田区半蔵門1-1
☎03-3288-0111

多数の会員の皆様のご参加をお願い致します。

ナダ園芸造園協会) など海外の造園組織との交流

Expo, Venlo - The Netherlands 5 April to 7 October 2012

に地下足袋姿の植木職人が手入れを行い多くの来園者から注目を集めました。



昆明国際園芸博覧会の日本庭園 (写真: 都市緑化機構)



伝統的な職人姿でパフォーマンス (写真: 箱根植木) フロリアード2002の日本庭園入り口

フロリアードに出展された日本庭園では、ハーグ・ズータメア(1992年)で金賞に輝き、ハールレマミア(2002)では、屋外展示1位、優秀栄誉賞を受賞しました。翌年ドイツのロストックで開催されたIGAではオランダで使用した資材を活用して庭造りが行われ、竹取物語をテーマに日本の文化や自然観を紹介し、金賞を受賞しました。

このように国際園芸博覧会には多くの日本庭園が出展され、日本の伝統的な造園技術を紹介する場となり、多くの日本庭園作庭と管理には日造協の会員が深く関わっているのです。

■フロリアード2012の概要

フロリアード2012はドイツ国境に近いオランダ南部の町Venlo(フェンロー)で開催されています。

正式名称: 2012年フェンロー国際園芸博覧会(フロリアード2012)

Floriade 2012 World Horticultural Expo, Venlo - The Netherlands

テーマ: 自然と調和する暮らし

“Be part of the theatre in nature, get closer to the quality of life”

開催期間: 2012/4/5~10/7日 10:00~19:00 (6/21~9/2は~20:00)

開催場所: オランダ王国フェンロー市

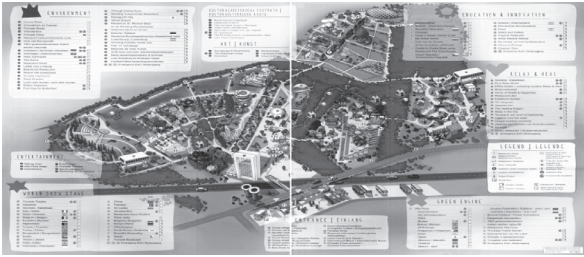
会場規模: 66ha

参加予定国: 40ヶ国程度、

入場者数: 200万人(開催国目標)

入場料: 25ユーロ、4歳~12歳: 12.50ユーロ

6ヶ月の開催期間で入場目標が200万人というのは日本の感覚ではずいぶん少ないようですが、周辺の歴史ある街や自然をゆっくり楽しんでもらおうというパッケージも用意されていて、周辺への緑化推進と観光促進が期待されています。



■フロリアード2012の日本出展

今回のフロリアードには、日本国政府屋内展示と埼玉県川口市の日本庭園が出展され、世界に誇る日本の園芸、造園文化を紹介しています。

日本国政府出展は、屋内展示会場Villa Flora 2階の約250平方メートルの出展ブースに、日本の花きや園芸文化について紹介しており、主な行事としてオープニングセレモニー(4月)、ジャパニデー(8月)クロージングセレモニー(10月)の他、日替わり、週替わりでさまざまな花と緑のパフォーマンスが行われます。



オープニング準備の整った日本ブース

フロリアード2012オフィシャルオープニングでは、オランダ王国ベアトリクス女王陛下が日本ブースを訪問され関係者とお会いになられました。

4月5日の屋内出展オープニングセレモニーには、在オランダ大使館関係者、国土交通省 小林審議官を

はじめとする日本国政府関係者、AIPHのFaber会長と和田副会長や出展されている春日灯籠を無償で貸与していただいたオランダ人骨董収集家Ger夫妻も出席して執り行われました。

一般枠での出展となる川口市の庭園は1982年に日本から唯一の参加として最高賞を受賞して以来今回で4回目の出展となり、植木の里である安行を中心に緑化産業に関わる若手の方たちが実行委員会を組織し、植物材料、石材など造園資材を日本から送り、現地で3週間にわたり作庭を行いオープン20日前には完成していました。



茶庭のしつらえ

7月5日から11日には、フロリアードによる都市緑化推進効果や環境先進都市などを視察して新たな造園のビジネスチャンスを探るツアーも企画していますので多くの方々のご参加をお待ちしています。

■Floriade2012と日造協のかかわり

今回のフロリアードでは、伝統的な造園技法のファンや理解者をつくるために、日本政府屋内出展ブースと川口市屋外日本庭園で、日本庭園や造園技法への興味を喚起し理解を広げるための「解説型」と、伝統的な庭園文化を紹介し、多様な造園技法を楽しんでもらうための「参加・体験型」の2つの方法で実施される講座が企画されました。日造協国際委員会から3名の講師を派遣し、オープニング前に展示庭園の製作監修と解説内容のまとめや映像の提供と講座の企画や準備を行い、オープニングイベントでは作務衣や半纏の衣装も決めてパフォーマンスをしました。当初は、日本語の解説を来場者の様子により英訳、オランダ語約をする予定でしたが、結果的には通訳時間節約のため講師が英語で解説を行い、必要に応じて通訳をすることとなりました。

講座No	講座内容		講師
講座-I	日本庭園の歴史、名園の紹介	スライドショー	野村
講座-II	屋内展示庭園の解説	施設解説	野村・松本
講座-III	屋外展示庭園の解説	庭園構成、施設解説	野村・松本
講座-IV	庭園技術の体験	関守石飾り結び	秋田・松本

4月5日~7日のオープニングイベントには多くの方が訪れましたが、中にはデンハーグのクリンゲンダー日本庭園を管理しているグループの聴講もあり、松の手入れ方法などについて細かい質問が寄せられました。



屋内日本ブースでの庭園解説

屋外庭園では入り口付近で興味のある方や少人数のグループに対して解説を行い、最後に茶庭に誘導して関守石の飾り結び体験へ誘導する方法としました。

関守石の意味について質問をすると、ほとんどがわからないという答えでしたが、石のお金?と聞いたユニークな方もいました。

飾り結びの体験コーナーは盛況で、担当の秋田、松本両講師の段取り、手順もスムーズで、通訳の広瀬さん、鈴木さんも結びができるようになり、説明がよりわかりやすくなりました。



庭園解説と関守石飾り結び体験

*講師のつぶやき

時間も限られているので、前もって下準備をしておき、最後の「四つ畳」だけを体験してもらうような形をとりました。

第1回目は、初めて手順をみてもらい来場者に後からやっと思いましたが、言葉の壁もあり、なかなか上手いきませんでしたが、2回目からは、来場者と共に「四つ畳」を結んでいきました。

中には、結び方を知っている人もいて「キングクラ

ウンノット」と結び方の名前を教えてくださいました。

組み終わった「関守石」は持ち帰り自由でしたので、「重いからいらない」という人や「部屋に飾る」「夫婦げんかをした時に部屋に入れないように使う」「一人になりたい時に使う」などいろいろと使用目的を言いながら喜んで持って帰っていました。

初めはどうかと不安でしたが、通訳の方も一緒にやっていただけたので無事3日間の役目を果たせたと思います。(秋田講師)



関守石をお土産に持って帰る人も多い



日本ブーススタッフの若者たち

今回日造協で担当させていただいたイベントは大成功でした。

ちょっと話題はそれますが、屋内日本ブースで若者たちが活躍しています。「研修生」として日本から3箇月もしくは6箇月来ている若者です。花卉業界に携わる生産・流通・小売・生花・盆栽・造園など、広いジャンルから公募を勝ち取って来ています。市内のアパートで共同生活を営みながら会場のサポートをしています。

その効果を推察すると

- ・同世代の業種の違う仲間との情報交換
- ・最先端の園芸情報の入手
- ・来場する日本人に対する営業
- ・帰国後の話題づくり
- ・会場内他国の技術者との交流
- ・新しいビジネスモデルのヒント

若い子には旅をさせろといいますが、まさにこれぞ! って感じです。

20代で行った一造会の海外研修を思い出します。あの経験が今に生きている。

日本ブースで研修生に会ったら、激励の一言を!!

(松本講師)

■造園技術の海外展開へむけて

日本の伝統文化と造園技術の集大成とも言える日本庭園は、盆栽とともに海外で関心の高いものとなっていますが、風土や文化の違う国で生まれ育った人々に、日本庭園の本質や日本独特の剪定技術までを理解してもらうことはやはり少々難しいことかもしれません。

四季の移ろいや多様な自然の風景を巧みに取り入れて発達してきた日本の庭園技術は、日本人が遺伝子として持っている自然感を具現化したものともいえ、上古から長い時間をかけ時代背景を映しながら変遷してきたものです。

日本にある庭園を表面的に作るのではなく、現地の気候や風土にあった資材の選定とともに、その場の景色や背景を巧みに取り入れおさめることが海外での日本庭園作りには特に必要なことだと考えられます。

日本庭園は完成してからも、独特の手入れによって時間をかけながら徐々に熟成させる空間であり、そのための技術や技能の伝承も欠かすことができません。

前述したように海外には多くの日本庭園がありますが、良好な状態を保っているものは非常に少なく、適切な管理が必要とされています。

アメリカ合衆国オレゴン州のポートランド日本庭園を中心に、北アメリカの日本庭園管理に関する情報共有ネットワークの構築が始まっていますが、日本庭園に限らず海外プロジェクトや都市緑化の場に日本の造園技術、管理技術を発揮することが新たな造園産業のビジネスチャンスにつながると期待され、積極的にかわりを持つことが大切なのではないでしょうか。

今後も多くの国で開催が予定されている国際園芸博覧会が、日本の誇る庭園文化を世界中の人々に紹介し、日本庭園の魅力と日本の造園技術のすばらしさを伝える場となることを願っています。

副会長・国際委員長 和田新也、国際委員 松本朗(富士植木)、講師 秋田昌之(箱根植木)、技術調査部長 野村徹郎

海外特集
★
フロリアード
2012



AIPH (国際園芸家協会)、CNLA (カナダ園芸造園協会)
Floriade 2012 World Horticultural

■日造協の国際交流

日造協は、創立後間もない頃より海外における都市公園や環境緑化の事例調査や視察を行うとともに、AIPH（国際園芸家協会）、ELCA（ヨーロッパ造園建設協会）、IFLA（国際造園家協会）など諸外国の造園緑化に関係する団体との交流を図っており、日本の造園文化と技術を世界に発信するだけでなく、世界各国からの問い合わせや日本での活動の相談などにも対応するとともに、海外でのプロジェクトなど様々な情報を提供しています。

今回の海外特集では、日造協の国際的な活動の一端を4月5日からオランダで開催されている国際園芸博覧会“Floriade2012（フロリアード）”を中心にをご紹介します。



■国際園芸博覧会とフロリアード

国際園芸博覧会は、1960年にオランダのロッテルダムで初めて開催されて以来、ヨーロッパ各地で定期的に開催されています。

国際園芸博覧会は

- ・ 真の国際園芸博覧会の価値を高め、博覧会が過度に開催されることを防ぎその成功を保証する。
- ・ 園芸のあらゆる分野における生産性を向上させ、園芸製品の利用を促進し、世間一般の園芸製品に対する評価を高める。
- ・ 園芸職の世界的協力を増進し、園芸製品、園芸事業の自由な取り引きを促進する。

という目的で開催規則が作られ世界各地で開催されており、国内外の園芸博覧会開催地の多くは公園としての利用や地域開発における緑のインフラとして活用され博覧会の社会的な効果を持続しています。

国際園芸博覧会は、その規模や期間によってA1～B2まで次のように分類されています。

分類	名称	開催頻度	開催期間	国際参加	最低博覧会最低面積
A1	大国際博覧会 パリの博覧会 国際事務局 (BIE)に承認 が必要	1回/年以下 10年に1回/1 ヵ月以下	最低3ヵ月 最高6ヵ月	最少10カ国	50ha
A2	国際園芸博覧 会	2回/年間最高	最低8日間 最高20日間	最少6カ国	1.5ha うち最低200 ㎡は、外国から の参加者向け
B1	国際参加のある 園芸博覧会 —長期—	1回以下/暦年	最低3ヵ月 最高6ヵ月		25ha 最低3%は、 外国からの参 加者向け
B2	国際参加のある 園芸博覧会 —短期—	2回/年以下	最低8日間 最高20日間		0.6ha 最低600㎡は、 外国からの参 加者向け

海外の国際園芸博覧会に出展された日本庭園のほとんどはA1クラスの博覧会となっています。

ヨーロッパから始まった国際園芸博覧会は、アジアでは1990年の大阪「国際花と緑の博覧会」が初めての

開催となり、以後中国各地（雲南省昆明市、遼寧省瀋陽市、陝西省西安市）、兵庫県淡路島（淡路花博）、静岡県浜松市（浜名湖花博パシフィックフローラ、浜名湖フラワー&ガーデンショー）、タイ王国チェンマイ（ローヤルフローラ・ラチャブルック）、韓国（フロリトピア）台湾（台北世界花博覧会）などで開催されています。

国際園芸博覧会の中でも特に歴史のあるフロリアードは、10年に一度オランダで開催されるもので、AIPH（国際園芸家協会）の認証を得て開催されるA1クラスの国際大博覧会で、今回で6回目の開催となります。

また、ドイツでも10年ごとにIGAが開催されており、前回2003年のRostock会場ではフロリアード2002に出展された日本庭園の一部施設が移設されて出展されました。



今までに開催された主な国際園芸博覧会とこれからの開催予定を次の表にまとめました。

国際園芸博覧会の開催歴

開催年	国	都 市	名 称	クラス
1960	オランダ	Rotterdam	Floriade	A1
1963	ドイツ	Hamburg	IGA	A1
1964	オーストリア	Vienna	—	A1
1969	フランス	Paris	—	A1
1972	オランダ	Amsterdam	Floriade	A1
1973	ドイツ	Hamburg	IGA	A1
1974	オーストリア	Vienna	—	A1
1980	カナダ	Montreal	—	A1
1982	オランダ	Amsterdam	Floriade	A1
1983	ドイツ	Munich	IGA	A1
1984	英国	Liverpool	International Garden Festival	A1
1990	日本	大阪	国際花と緑の博覧会	A1
1992	オランダ	Zoetermeer	Floriade	A1
1993	ドイツ	Stuttgart	IGA	A1
1999	中国	昆明	International Garden Festival	A1
2002	オランダ	Haarlemmermeer- Amsterdam	Floriade	A1
2003	ドイツ	Rostock	IGA	A1
2004	日本	静岡	パシフィックフローラ	A2/B1
2004	フランス	Nantes	Florales Nantes 2004	A2
2005	フランス	Dijon	Florissimo	B2
2005	ドイツ	Munich	BUGA	B1
2006	タイ国	Chiang Mai	Royal Flora Ratchaphruek	A1
2006	中国	瀋陽	Shenyang	A2/B1
2006	イタリア	Genova	Euroflora	A2
2007	ドイツ	Gera (G)	BUGA	B1
2008	カナダ	Quebec	Les Jardins des Florales int.	B1
2008	カナダ	Quebec	Quebec en Fleurs int.	B2
2009	ドイツ	Schwerin	Buga	B1
2009	日本	静岡	浜名湖フラワー&ガーデンショー	B2
2009	韓国	Kkotji	Korea Floritopia	A2
2010	台湾	台北	Taipei International Garden and Horticulture Exposition	A2/B1
2011	中国	西安	International Horticultural Exhibition	A2/B1
2011	ドイツ	Koblenz	Buga	B1
2011	イタリア	Genua	Euroflora	A2
2011・12	タイ国	Chiang Mai	Royal Flora Ratchapruerk	A2/B1
2012	オランダ	Venlo	Floriade 2012	A1

来年2013以降に開催予定の国際園芸博覧会

2013	韓国	Suncheon	Suncheon Bay International Garden Expo 2013	A2/B1
2014	中国	Qingdao	Qingdao International Horticultural Exhibition 2014	A2/B1
2016	トルコ	Antalya	Expo Antalya	A1
2016	中国	Tangshan	Tangshan International Horticultural Exposition 2016	A2/B1
2017	ドイツ		IGA	A1

学会の日・眼・芽
第34回

筆者の勤務する(株)ブレック研究所は、昨年6月から、岩手県陸前高田市における震災復興計画に関わる一連の業務に従事している。「三陸の湘南」とも言われた陸前高田市は、今般の東日本大震災により、全国でも最大級の壊滅的な被害を受けた。市の震災復興計画は昨年12月21日の市議会での議決を経て正式な計画となった。その後、岩手県で初めてとなる被災市街地復興推進地域及び先行整備する2つの区画整理地区の都市計画が、本年2月2日に都市計画決定された。また、3月29日には、高田など3地区で高台移転を行い、避難施設などを設ける津波復興拠点整備事業も盛り込んだ、復興整備計画が公表された。

このように、復興の方向性を定めるビジョンの段階から、個別具体の事業化の段階に移行しつつあるのが現状である。これまで1年近くでようやくここまで進んで来たという思いとともに、山積する膨大な事業を今後具体化させていくための多くの課題への心配、懸念が相半ばしている。

第一に雇用問題がある。仮設住宅等により住まいの問題は何とかクリアできているとしても、「何もすることがないほどつらいものがない」という思いをしている市民もいらっしゃるのではなからうか。第二には、今後の膨大な事業をどのようにして推進していくかである。市主体の事業としては、区画整理が2箇所、防災集団移転事業は概ね数十箇所、その他学校等の公共施設再建等があり、国・県・民間が主体となる、道路・河川・公園・JＲ等もあり、

造園分野から震災復興へ力を尽す好機

膨大な事業量に達する。これらにあたる市職員や支援する専門家は、絶対的に不足している。更には、人口流出への懸念がある。防潮堤整備に5年、区画整理や防災集団移転事業は最低でも4年がかかると思われる。事業が長期化すればする程、市民が市外に流出する可能性が高まる。これまで造園学会では、復興支援に向けて各種の調査活動や取り組みを行ってきた。近く「コンセプトブック」の発刊も予定されている。また国土交通省では、3月27日に「東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術的指針」を公表した。これまでの実地での復興へ向けての取組みにおいては、造園分野の専門家は非常に限定されていたが、実態で、陸前高田市においては、協働する専門家が、有識者、行政機関職員とも、そのほとんどが土木・建築等分野の方々で構成され、大変寂しい気持ちでもあった。

しかしながら、今後の事業化段階では、設計・施工・運営の各面で、我々の活躍の場が増大することとなる。被災地の土地利用は、津波防御のために高台移転が必須であり、今後低地部に広大なオープンスペースが現出することが想定される。そのような土地の空間整備・活用に関する、デザイン・運営のあり方も大きな課題となつてこよう。

今こそ、造園分野からの震災復興への具体的提案、また事業への参画が大いに期待される。産官学民の関係者は、一丸となって震災復興における専門職能を発揮する場の創出に、力を尽くすべき時機ではなからうか。

(公社)日本造園学会理事、
(株)ブレック研究所専務取締役
前澤 洋一

■AIPHと日造協

AIPHとその承認する園芸博覧会については、以前にも本誌に説明が掲載されていましたが、読まなかった方や、お忘れの方も多いと思いますので、簡単にご説明します。

AIPHは1948年に国を超えた協力の必要性を認識したヨーロッパ各国の園芸家団体によってスイス、チューリッヒにて結成されました。創設メンバーは、スイス、西ドイツ、オランダ等の10カ国の団体でした。

AIPHの大きな特徴の一つは、民間団体ではありませんが、国際園芸博覧会の認証団体であるということです。万国博覧会や国際博覧会を登録・認定する国際機関としてはBIE（博覧会国際事務局）がありますが、国際博覧会条約第4条B.2項には、国際園芸博覧会はAIPHがA1クラスとして承認したものをBIEが認定する旨、明記されています。簡単に言いますと、国際園芸博覧会については、AIPHの承認がないとBIEの認定がもらえないという仕組みになっています。

日造協は、大阪花と緑の博覧会（1990年）誘致活動を機に1985年アジアで初のAIPH会員となりました。当初日本は大阪花博開催のためだけの入会ではないかと懐疑的だったヨーロッパのメンバーもありましたが、その後の日造協の継続的活動により、現在ではAIPHの中心的メンバーとして認識されています。来場者数2300万人という園芸博としては空前絶後の入場者を得た大阪花博以来、BIE認定なしのクラスとしては最大級のA2/B1クラスの園芸博として開催された淡路ジャパンフローラ2000、浜名湖パシフィックフローラ2004の大成功は、アジアでの園芸博ブームの火付け役となり、現在のアジアにおける園芸博ラッシュとも言ふべき状況を作り出しました。

なお、国際園芸博覧会を開催するためには、開催国にAIPH会員機関が存在することと会員機関経由の申請が規則となっており、日本での開催にはAIPHに加盟している日造協がその窓口となっています。

日本の窓口として1985年にAIPHに加盟して以来、国際園芸博覧会の招請や開催の協力を努めるとともに、アジア地区の代表ともなっており、国際委員会としては国際園芸博開催のご希望があれば、しっかりサポート活動を行っていきたいと考えておりますので、ご質問等ございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

AIPHではGreen City活動等博覧会以外でも造園分野の活動を強めつつあります。

Green Cityはその名のとおり都市に緑を増やすための活動で、各国の緑の都市表彰制度やグリーンフォーラムの開催などにより都市緑化の啓発、促進を目指しています。

昨年11月にはAIPHメンバーでもあるCNLA（カナダ園芸造園協会）により大西洋側のニューファンドランド島でAtlantic Green Forumが開催され、日本の都市緑化制度や伝統的日本庭園と日本の風土や文化について日造協に講演依頼がありカナダの造園業界との交流を深めることができました。CNLAの組織や運営の方法は日本の造園産業界にとっても参考となることが多くみられ、より一層の情報交換を継続したいと思います。



■海外の日本庭園と国際博覧会

日本造園学会の調査によると海外で一般に公開されている日本庭園は450あまりと報告されています。

国際的な博覧会に日本庭園が出展されたのは、1863（慶応3）年のパリ万国博が最初とされていますが、日本が国として参加したものは1873年（明治6年）のウィーン万国博覧会が初めてで純日本の風俗を紹介したものが出展されています。日本庭園はその後欧米各地で開催される博覧会の目玉出展物となり、貴族や富豪が自宅に日本庭園を造るようになったということです。

国際園芸博覧会では、大阪花博以前にも1984年に英国のリバプール国際園芸博覧会へ日本庭園が出展され、名誉大賞とラージゴールドメダル賞を受賞しています。



リバプール国際園芸博覧会の日本庭園（写真：都市緑化機構）

その後も1999年に中国初の国際園芸博覧会が、春城とも呼ばれ多くの植物のふるさとでもある雲南省の昆明で開催され、出展された日本庭園は総合部門で最優秀賞、部門別でも大賞、金賞を受賞し、2006年にタイ王国チェンマイで開催されたローヤルフローラには国交省、地方公共団体、緑関係団体で構成する共同出展実行委員会により日本庭園が出展され、会期中は半纏

「沖縄総支部」との交流会開催 函館地域7会員が沖訪

北海道総支部

国内・国外ともに社会・経済が芳しくない状況の続く中、内（地域）に籠もっていてもなかなか明日への展望も観えないということで、目を広く据えて「何かヒントは？」と、函館地域の会員が考えました。

函館地域の日造協会員7社は、普段から見聞を広める意味を持たせて月々なにがしかの積立をして年に1度視察に出かけます。仲間意識が豊かです。今年「立地環境がまったく異なる沖縄へ！」となりました。折角の機会なので「沖縄総支部と北海道総支部」の交流

を北海道総支部の事業の一つにして取り上げ、積極的に推進することになりました。平成24年2月15日に交流会を開催しました。

まずは、沖縄の庭園（識名園）を視察しました。

○「識名園」（シキナエ）又はシチナスウダウン

市内業者が請負、管理方法は内燃機関の伴うものは園内は「御法度」と厳しく、剪定、落ち葉および池の浄化などはすべて「人力」で行い、その後処理運搬もトラックは園内に入れることができない、との話でした。

また、園内には那覇市の「識名園管理事務所」があり、開園日は同事務所の管理指導を受けて業務を進めており、休園日には通常日にはできない作業をしているとのこと。「なるほどな？」と理解が及ばない説明部分もありましたが、参加者は驚異していました。

ほかに、同じく世界遺産として登録されている「斎場御嶽」（せーふあうたき）を視察しました。

この後場所を変えて「意見交換」と「懇親会」が行われました。話題は次のような内容でした。

○お互いの、事業内容等の説明。

○沖縄と北海道とは造園活動時期が異なる。沖縄は12月～4月位が最盛期となり他の月は梅雨・台風・炎暑などで閑散期となる。

このため北海道と併せると年間を通して仕事ができるのではないかな。

○沖縄と北海道は距離的には遠いが、置かれている環境には共通するものが多い。これを機に相互にコミュニケーションを進めてい

きたい。

翌日は、今話題の「普天間基地」「嘉手納基地」などを見学。北海道から見ている限りではわからないところが沢山あることを理解した。

今後の両総支部の活動において、北海道以外の地方の活動を知るとは単なる観光と違って本当の話も聞ける。このような交流は重要なポイントになるものと確信しました。

（北海道総支部事務局局長 高橋 勉）

●会員申込み受付中
締切は5月31日(木)まで
造園技術者の能力向上

と客観的評価の指標となる「造園CPD（継続教育制度）」の会員申込み受付が始まりました。造園技術者であれば誰でも入会できます。また、日造協会員企業の社員、または日造協が行なう資格（街路樹剪定士・植栽基盤診断士・登録造園基幹技能者）をお持ちの方は、割引された年会費で造園CPD会員になることができます。

なお、今年度から年会費が改定され、会員種別【会員1】は、2,500円（これまで1,500円）になりました。

①日造協会員企業に所属している方 会社代表者または造園CPD担当者宛のメールアドレスに手続き案内を送りしております。

②日造協が実施する資格をお持ちの方 日造協ホームページのCPDのページにある「入会案内」をご覧ください。

③上記以外 造園CPD協議会に会員種別【会員1】として直接お申込み下さい。（会費4,000円）

【4月】
2月・フロリアード2012
名誉賞審査（5月）
・フロリアード出展事業（9月）
5月・フロリアードオープニング講習（7月）

【5月】
9月・事業委員会（事業企画部会）
10月・第50回技能五輪全国大会合同委員会

14月・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
15月・運営会議
16月・アクトンプログラム推進等特別委員会
17月・総務委員会（広報部会）
18月・総務委員会（企画・財務合同部会）
21月・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
22月・監事監査
25月・総務委員会（全国）
28月・植栽基盤診断士認定委員会
30月・第1回通常理事会

委員会等の活動
■総務委員会（広報部会）
HPリニューアル、40年の歩み、広報日造協5月号（8月号等）について審議した。（4月19日）
■事業委員会（公益活動部会）
今年度の全国造園フェスティバルの開催計画について、開催方針、創立40年事業や震災復興支援活動との連携などを検討した。（4月23日）

「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」
今年で85回を数え、厚生労働省、中央労働災害防止協会が主催する全国安全週間のスローガンは「ル

ールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」に決定しました。

労働災害を防止するためには、安全衛生の担当者や労働者の方による現場の確認、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守るとい、原点に立ち返ることが必要であり、そのことによって労働者の方の安全を確保し、労働災害ゼロを目指していく必要があります。

全国安全週間では、意識の高揚を図るため、看板やポスターでこのスローガンを広く事業場で掲げます。

その最も大切な品質とサービスだと考えています。

軽トラックからダンプ・クリーン車など全てのメーカーと全ての車種を取扱っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

.....
東京都八王子市元八王子町3の2440の1
042-629-1375
FAX 042-629-1376

フロリアード―国際園芸博覧会― 視察ツアー

5月31日申込〆切

日造協ではオランダ南東部のフエンローで開催中の「フロリアード2012―国際園芸博覧会―視察ツアー」の参加者を募集しています。7月5日(木)～7月11日(水)の5泊7日、募集人数は15人。参加費は1人318,000円＋諸費用となります。

ツアー中、フロリアード視察の他に、現地公園管理者との交流、ボス公園、エムシャーププロジェクトなど、どの公園緑地の視察、庭園の歴史博物館の見学など役に立つ興味深い企画が盛り沢山です。是非この機会に、お誘い合わせの上お申し込みください。お問合せは(株)近畿日本ツーリス（03-6891-9305、担当：江口、國分）まで。フロリアード2012については23面に関連記事参照



「沖縄総支部」玄関付近で



「識名園」指定管理オーナー説明

『緑』って

緑は光の三原色の一つであることは、皆様周知のことと思いますが、では「緑って何でできてるの？」って聞かれると、なかなか答えられないと思います。

まず緑の定義を調べると、1931年国際照明委員会が561nmの波長を緑(G)と規定し、490.5nmの波長の色相(Hue)はおおよそ緑であると決められた。

色材においては、例えばシアンとイエローを混合して作ることができ

る。

次に語源として『みどり』という語が登場したのは平安時代になってからである。本来は「瑞々しさ」を表す意味であつたらしい。それが転じて新芽の色を示すようになったといわれる。英語のグリーンも「草」(grass)や「育つ」(grow)と語源を同じくするといわれ、いずれにしても新鮮さのイメージを喚起する色である。

緑色で定義してしまうと、植物、



緑 滴

を博している。

私の人生の中の緑って、56年の中で総てが根をしっかりと張れる土壌の中にいるものばかりであつたように思う。今の都市化の中で遮熱のために高価な器具で屋上や壁面を緑化するのでもいいが、せいぜい寿命が10数年の耐用年数である。私としては土に根をおろす植物、樹木で緑を再構築していくべきなのかなと、本当に二酸化炭素を取り込んで酸素を作

る樹木を考えているのかなと自問自答している。

高価な器具による緑より、里山や景観地の荒れた場所への緑のあらし、林業家ではない造園家としての景観植栽ができるのではないかと

農業生産する緑も人間が生きていく上で必要であり、又、水分を保持し酸素を生産する緑も必要。造園家としては人間にゆとりと癒しを与える緑を求めていくのが本来の姿のように思う。

原発の安全神話が崩れて以来、太陽光発電を取り入れるなら緑地を減らしてもよいなどという気運さえ感じられる昨今、行政に対して造園家としての立場を評価・理解してもらい、コンサルが描いたものを作るだけじゃなく、植栽基盤を含めた景観価値の寿命の長い造園をしていくように努力する。

「緑」を育み、守り、創ることが造園家としての使命。と、心に祈念し、熟練の技を伝えていきたい。

井内 優 (株井内屋種苗園)



三住オートリース

日造協賛助会員の紹介 41 三住オートリース(株)

当社は、「仕事で使う車はリースが断然有利」との信念のもと、全国の造園業・植木生産業の皆様を支えられて、緑化事業者の皆様とともに歩んでまいりました。

どこよりも格安のリース料金でご利用頂けることを第一に、そして、信頼こ



「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」
今年で85回を数え、厚生労働省、中央労働災害防止協会が主催する全国安全週間のスローガンは「ル

全国安全週間7月実施

準備期間 6/1～6/30

「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」
今年で85回を数え、厚生労働省、中央労働災害防止協会が主催する全国安全週間のスローガンは「ル

ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」に決定しました。

労働災害を防止するためには、安全衛生の担当者や労働者の方による現場の確認、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守るとい、原点に立ち返ることが必要であり、そのことによって労働者の方の安全を確保し、労働災害ゼロを目指していく必要があります。

全国安全週間では、意識の高揚を図るため、看板やポスターでこのスローガンを広く事業場で掲げます。

- | | |
|--|--|
| 10月・臨時理事会
総支部長等会議
造園CPD協議会総会
造園CPD推進委員会合同会議 | 14月・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
運営会議
アクトンプログラム推進等特別委員会
総務委員会（広報部会）
総務委員会（企画・財務合同部会）
植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
監事監査
総務委員会（全国）
植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |
| 12月・総務委員会（広報部会）
造園CPD協議会総会
造園CPD推進委員会合同会議 | 15月・アクトンプログラム推進等特別委員会
総務委員会（広報部会）
総務委員会（企画・財務合同部会）
植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
監事監査
総務委員会（全国）
植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |
| 19月・総務委員会（広報部会）
造園CPD協議会総会
造園CPD推進委員会合同会議 | 17月・総務委員会（企画・財務合同部会）
植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
監事監査
総務委員会（全国）
植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |
| 23月・総務委員会（広報部会）
造園CPD協議会総会
造園CPD推進委員会合同会議 | 21月・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
監事監査
総務委員会（全国）
植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |
| 27月・第6回みどりの式典
（5月） | 22月・監事監査
総務委員会（全国）
植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |
| 9月・事業委員会（事業企画部会）
第50回技能五輪全国大会合同委員会 | 25月・総務委員会（全国）
植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |
| 10月・第50回技能五輪全国大会合同委員会 | 28月・植栽基盤診断士認定委員会
第1回通常理事会 |

委員会等の活動

■総務委員会（広報部会）
HPリニューアル、40年の歩み、広報日造協5月号（8月号等）について審議した。（4月19日）
■事業委員会（公益活動部会）
今年度の全国造園フェスティバルの開催計画について、開催方針、創立40年事業や震災復興支援活動との連携などを検討した。（4月23日）